



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワチ薬品

コード番号 2664 URL <http://www.cawachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河内 伸二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小松 順嗣

TEL 0285-32-1131

四半期報告書提出予定日 平成26年10月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年3月16日～平成26年9月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	135,397	10.5	1,917	△49.7	2,419	△43.6	△5,872	—
26年3月期第2四半期	122,509	3.6	3,813	△14.5	4,290	△11.0	2,443	△14.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △5,851百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 2,447百万円 (△13.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△253.97	—
26年3月期第2四半期	105.70	105.58

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	181,065	84,793	46.8	3,666.75
26年3月期	186,508	91,712	49.2	3,964.81

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 84,779百万円 26年3月期 91,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月16日～平成27年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	269,000	10.8	4,200	△41.5	5,200	△35.4	△4,300	—	△185.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社倉持薬局

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	24,583,420 株	26年3月期	24,583,420 株
27年3月期2Q	1,462,272 株	26年3月期	1,462,272 株
27年3月期2Q	23,121,148 株	26年3月期2Q	23,116,315 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。従いまして、今後必要に応じて業績見通しの修正を行う可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月16日～平成26年9月15日)におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、所得の伸びを上回る物価上昇から個人消費への影響が懸念されることや、一部商材では増税前駆け込み需要の反動減の影響が続く等、先行き不透明なまま推移いたしました。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、業態の垣根を越えた戦いに加え、小売各社の出店増、夏場の天候不順による影響や価格競争の熾烈化が続く等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような中、当社グループでは、高齢化社会に対応するべく基幹店舗(メガ・ドラッグストア)への調剤薬局併設に注力し専門機能強化を図るとともに、サテライトタイプ(小商圈対応型)店舗の出店に注力いたしました。また地域占有率を高めるためのM&Aを進めることにより、販売網の拡大とエリア基盤強化に努めてまいりました。

一方、競争激化に対応するべく販売価格や品揃えの見直し及び販売促進に努めると共に、健康や美容に関するカウンセリング機能の強化に努めてまいりました。

新規出店につきましては、サテライトタイプの店舗を中心に既存地区である、栃木県、群馬県、宮城県に各2店舗、茨城県、岩手県に各1店舗、長野県に基幹店舗を1店舗及びサテライトタイプを1店舗、計10店舗を出店いたしました。調剤薬局につきましては、宮城県に2件、岩手県、栃木県、茨城県、群馬県に各1件、計6件を既存店に併設いたしました。

これにより当社グループの店舗数は、計296店舗(内、調剤併設79店舗)及び調剤薬局4件の合計300店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,353億97百万円(前年同期比10.5%増)となりました。利益につきましては、粗利益率の低下や子会社連結による費用計上等により販管費が増加したこと等から、営業利益は19億17百万円(前年同期比49.7%減)、経常利益は24億19百万円(前年同期比43.6%減)、四半期純損失は減損損失を計上したことにより、58億72百万円(前年同期は四半期純利益24億43百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,810億65百万円(前期末比54億43百万円減)となりました。これは主に減損損失計上に伴う有形固定資産の減少によるものであります。

負債合計は962億71百万円(同14億75百万円増)となりました。これは主に流動負債のその他に含まれている未払金の増加によるものであります。純資産合計は847億93百万円(同69億19百万円減)となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は46.8%(同2.4ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成26年10月28日)公表いたしました「特別損失の計上及び第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社倉持薬局は当社を存続会社とする吸収合併(合併期日:平成26年3月16日)により消滅し、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,547	26,819
売掛金	2,666	2,563
商品	27,470	25,525
貯蔵品	16	13
その他	6,134	5,090
流動資産合計	61,836	60,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,200	44,411
土地	57,857	53,664
その他(純額)	4,717	4,893
有形固定資産合計	106,775	102,969
無形固定資産		
のれん	1,072	965
その他	4,697	4,743
無形固定資産合計	5,770	5,708
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,808	9,010
その他	3,318	3,363
投資その他の資産合計	12,127	12,374
固定資産合計	124,672	121,052
資産合計	186,508	181,065
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,752	40,960
短期借入金	670	—
1年内返済予定の長期借入金	12,184	12,146
未払法人税等	1,382	1,239
賞与引当金	982	952
ポイント引当金	288	291
本社移転費用引当金	34	32
その他	5,894	8,194
流動負債合計	62,189	63,817
固定負債		
社債	400	400
長期借入金	23,097	22,296
退職給付引当金	5,783	5,950
役員退職慰労引当金	203	203
ポイント引当金	38	38
店舗閉鎖損失引当金	—	373
資産除去債務	1,986	2,045
その他	1,097	1,146
固定負債合計	32,607	32,454
負債合計	94,796	96,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,001	13,001
資本剰余金	14,887	14,887
利益剰余金	66,330	59,417
自己株式	△2,564	△2,564
株主資本合計	91,654	84,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	37
その他の包括利益累計額合計	16	37
新株予約権	41	13
純資産合計	91,712	84,793
負債純資産合計	186,508	181,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月16日 至平成25年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月16日 至平成26年9月15日)
売上高	122,509	135,397
売上原価	96,519	107,711
売上総利益	25,990	27,685
販売費及び一般管理費	22,176	25,767
営業利益	3,813	1,917
営業外収益		
受取利息	22	23
受取配当金	2	2
協賛金収入	167	88
受取手数料	311	355
受取賃貸料	287	328
その他	66	161
営業外収益合計	857	960
営業外費用		
支払利息	116	121
支払手数料	84	73
賃貸収入原価	88	99
減価償却費	51	90
その他	39	72
営業外費用合計	380	458
経常利益	4,290	2,419
特別利益		
新株予約権戻入益	—	30
その他	—	1
特別利益合計	—	31
特別損失		
固定資産売却損	5	27
固定資産除却損	19	33
減損損失	—	6,760
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	373
特別損失合計	25	7,193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,265	△4,743
法人税等	1,822	1,129
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,443	△5,872
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,443	△5,872

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月16日 至 平成25年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月16日 至 平成26年9月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,443	△5,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	21
その他の包括利益合計	3	21
四半期包括利益	2,447	△5,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,447	△5,851
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月16日 至 平成25年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月16日 至 平成26年9月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,265	△4,743
減価償却費	2,182	2,373
減損損失	—	6,760
のれん償却額	—	107
固定資産除却損	19	33
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	373
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	△29
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	154	167
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	△2
受取利息及び受取配当金	△24	△25
支払利息	116	119
固定資産売却損益(△は益)	5	26
売上債権の増減額(△は増加)	△369	102
たな卸資産の増減額(△は増加)	△59	1,948
仕入債務の増減額(△は減少)	2,991	208
その他	954	2,230
小計	10,256	9,653
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△113	△115
法人税等の支払額	△1,877	△1,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,267	8,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,213	△3,845
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△54	△243
長期前払費用の取得による支出	△25	△38
敷金及び保証金の差入による支出	△137	△391
敷金及び保証金の回収による収入	151	115
その他	0	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,276	△4,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△670
長期借入れによる収入	5,500	6,000
長期借入金の返済による支出	△6,344	△6,838
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	20	—
配当金の支払額	△925	△1,039
その他	△0	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,749	△2,598
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,242	1,271
現金及び現金同等物の期首残高	25,295	25,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,538	26,819

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月16日 至平成25年9月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月16日 至平成26年9月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。